

### 雪よ早く来るなと スズランの根洗いに励む

- 〈主な内容〉
- 2-3 青年会活動
  - 4-5 座談会
  - 6 除雪計画
  - 7 防災無線設置
  - 8-9 お知らせ
  - 10-11 新年さんいらっしゃい  
ふるさと委員会のもとへ
  - 12 行事予定表

私たちの村の  
( )内は前月比

□人 回 7,021 (-8)  
男 3,434 (-8)  
女 3,537 (-5)  
□世帯数 1,644 (-5)



12月11日～1月10日

11 (火)	田沢地区こぶし会研修会(右参照) 倉俣地区家庭教育講座(子どもに喜ばれるおやつづくり・映画フォーラム(父親の役割)19:30～倉俣生活改善センター)
12 (水)	婦人健康づくり(右参照) 社会文教委員会と婦人会の意見交換会(冠婚葬祭にまつわる生活の商業化)13:30～総合センター)
13 (木)	婦人健康づくり(右参照)
14 (金)	婦人健康づくり(右参照) 心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
15 (土)	農用地転用許可申請/切
16 (日)	休日救急医(池田医院☎52-2581)
17 (月)	高齢者講座(高齢者の健康を考える 総合センター10:00～)(予定)
19 (水)	村民健康づくり(右参照)
20 (木)	農家相談会(役場19:00～21:00)
21 (金)	母親学級妊婦検診(右記参照) 心配ごと相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
23 (日)	休日救急医(中条病院☎57-3018)
24 (月)	健康相談日(保健センター9:30～16:00)
25 (火)	婦人健康づくり(右参照)
27 (木)	心配ごと行政相談日(老人福祉センター13:00～16:00)
29 (土)	休日救急医(大島医院☎52-2957)
30 (日)	休日救急医(山口医院☎52-2174)
31 (月)	休日救急医(富田医院☎52-3259)
1 (火)	大晦日 休日救急医(下桑山口医院☎55-2003)
2 (水)	元旦 休日救急医(至誠堂医院☎52-3276) 年賀交換会(受付9:00～総合センター)
3 (木)	休日救急医(池田医院☎52-2581)
6 (日)	休日救急医(上村病院☎63-2111) 消防出初式(総合センター10:00)
7 (月)	交通事故移動相談所(十日町市役所10:00～15:00)

シートベルト・ヘルメットを着用しよう!!

\*変更する場合があります。御用の際は担当課で確認を。

## 思い出の一枚

上山 山田キイさん



昭和三十一年(一九五六年)ころだと思えますが、商店街の活性化を図ろうと商工祭を実施しました。昼間は仮装大会、夜は民謡流しが行われ、仮装大会には、七福神、西郷隆盛、桃太郎などが登場し、トラックの上へ上がって村内をパレードしました。亡くなった主人は、祭りごとが大好きで、近所の子どもたちを子分に従え、清水の次郎長一家にふんしました。  
夜の民謡流しも、トラックの上で踊り子が踊り、その後におおぜいの踊り子がついて駅通りや本通りを流しました。残念ながらこの催しも二三年で終わってしまいました。



みなさん  
忘れないで 保健衛生の  
お知らせ

- 母親学級  
12月21日 8:30～9:00/保健センター
- 妊婦検診  
12月21日 13:30～14:00/上村病院
- 婦人健康づくり  
12月12日 9:30～14:00/小出  
12月13日 9:30～14:00/たか羽  
12月14日 9:30～14:00/角間  
12月19日 9:30～14:00/市之越  
12月25日 9:30～14:00/東田沢
- 田沢地区こぶし会研修会  
12月11日 9:00～12:00/保健センター

＝ご協力に感謝します＝  
「ウス・キネ」



広報なかさと11月号で「ウス・キネ」の提供をお願いしたところ芋川・根津敬さん、芋川・根津一夫さん、東田尻・銀野準平さん、如來寺・高野顕さん、芋川・高橋 敏さんから年季の入ったウスやキネをいただきました。ありがとうございました。

## 今月の表紙

初雪がまだ十センチも残っている中、水田に水を張って、スズランの根を洗う農家の人に出会いました。  
「今ごろスズランの根を洗っている人はいないべ」と言っていて笑っていました。中里村のドイツスズランの生産量は日本一です。

## 編集後記

▼本格的な降雪期を迎えます。毎年、雪処理をめぐるトラブルが生じます。道路を歩行して一歩頭にくるのは「道路に雪を出して当然」としている人に出会うときです。雪国で生活していく上での、最低限のモラルは守りたいものです。  
▼家や木が邪魔になつて、見通しの悪い交差点がたくさんあります。家を建てるときや木を植えるときは、車や歩行者のことを思いやる気持ちを持ちましょう。



### 地域の先頭に立ちたい

田代青年会長

滝沢和文さん

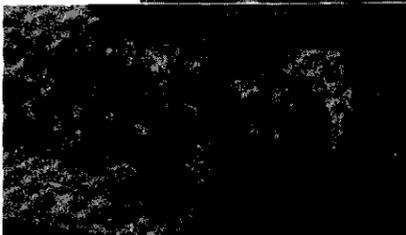
わたしが青年会長になって6カ月が過ぎました。このところ青年会活動のおもしろさや難しさが分ってきました。田舎に住む人たちにとって青年会の果たす役割がいかに大きく、また、影響力があるかが分かってきました。どんなに青年会の活動が活発でも地域に密着した役割を果たさないと青年会の意味がないように思います。

わが青年会の主な活動は、盆踊り大会(カラオケ大会)と七ツ釜祭りです。七ツ釜祭りは、七ツ釜に電灯施設が昨年設置されたことを契機として始めたものです。七ツ釜に村中の人が集まり、互いの交流を深めるとともに、訪ずれた人たちに楽しんでいただけるよう知恵を出し合っています。

どこの集落の青年会の運営も大変と聞きますが、集落一丸となってやる盆や祭りなどは、どうしても青年会の方が必要だと思います。今後も集落の人たちの協力を得ながら、新しい試みの先頭に立ちたいと思います。



▶ 来訪者も加わってにぎやかなカラオケ大会



▶ 熱心に拍手を送る人々



### マンネリ化を打開し新しい息吹を

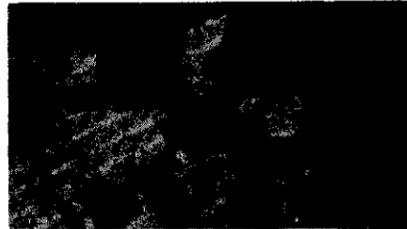
清津峡成年会長

藤ノ木秀一さん

清津峡成年会は、昭和54年7月に小出、角間、葎沢、土倉、倉下の5集落の青年が集まって結成しました。結成当時、40人を数えた会員も地域条件から土倉、倉下の青年の加入が無くなり、現在は25人です。

活動のメインは、清津峡まつりへの企画段階からの参加です。今年は、雪崩災害が発生したため、前夜祭が取りやめとなり、例年よりもやや規模が縮小されました。しかし、我々青年は、少しでも新しい試みをとということで、深山市、ニジマス釣り等の他に、ニジマスのつかみ取りの会場で、ニジマスの塩焼き、イカ焼き、焼きソバなどの売店を出し、親子連れから大変喜ばれました。

今年は、清津峡まつりの一環として、清田山、田代でも青年が中心となって多彩な催しが行われました。みんなが協力し合って、少しでも地域を良くしていくように様々な試みをしたものです。清津峡たるばやしも地域に定着しつつあります。地域全体でこういう新しい芽を育てていきたいものです。



▶ ミズやフウキの山の幸 大好評



▶ キネの重さに おどろく子どもたち



### 新しい企画で活動を盛り上げよう

干溝青年会員(前会長)

広田敏一さん

わが干溝青年会は、現在12名の会員がおり平均年齢は24歳と若く、活動的な青年会ではないかと自負しています。わが青年会は、鎮守様、薬師様の祭りを集落から任されています。中でも8月の祭りは、他の集落に先がけて、カラオケ大会を始めたのを皮切りに、みこし、民謡流し、仮装大会とアイデアを生かした企画を実施してきました。また、冬の行事として、これまた他に先がけて雪上運動会を実施してきました。しかし、長年のマンネリ化を打開するために、昨年からは鳥追いまつりを実施し、村中で楽しんでます。

さて、社会が多種多様化してきている現在、同世代の人たちの中でも互いに理解をし合うことが難しくなっています。青年会活動は、活力ある村にするために自分たちは何をすべきか、自分たちの立場はどうかなどを考える上で大変重要な位置にあると思います。青年会同士の交流も積極的に深めたいものです。



▶ にぎわった仮装・民謡流し

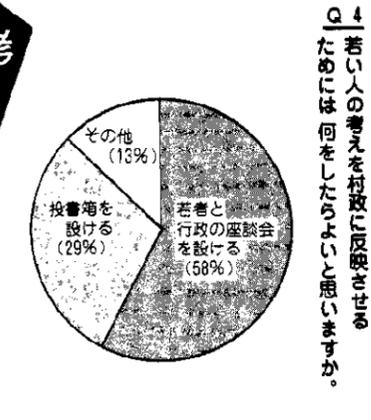


▶ 子どもたち大喜びの みこし

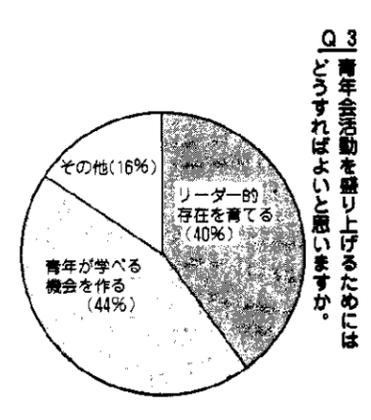
# 地域に根ざす青年会活動

いまでも多くの集落でカラオケ大会、演芸大会、雪上運動会、鳥追いまつりなどが盛んに行われています。この企画運営の主軸を担っているのが青年会活動です。一時下火になっていた青年会活動も、昭和五十五年以降随分活発になってきました。この理由としては、地域に若い人たちが多くなっていることが考えられます。青年会活動は、会社での仲間の団体、スポーツ、趣味の団体とは活動の目的を異にしています。同じ地域に住む青年同志が互いに理解し合い、よりよい地域づくりに取り組みの青年会活動ではないでしょうか。今回は村内の三集落の青年会活動にスポットをあててみました。

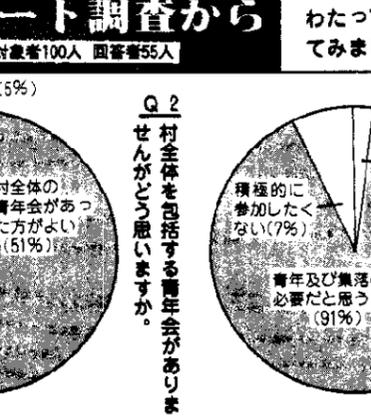
アンケートを設計してみますと、ほとんどの青年が青年会活動の必要性を認め、積極的に参加していると答えています。しかし、集落単位の上部の村全体を包括する青年会については、必要性は認めながらも、約半数の人たちがうまくいかないと考えています。青年会活動を更に盛り上げるには、という問いに対しては、八四歳の青年がリーダーの育成と学習の場を上げています。この他にも、青年会対抗行事とか、青年会同志の交流の場を上げています。



Q1 若い人の考えを村政に反映させるためには何をしたらよいと思いますか。



Q2 村全体を包括する青年会がありませんがどう思いますか。



Q3 青年会活動を盛り上げるためにはどうすればよいと思いますか。

## アンケート調査から

対象者100人 回答者55人

青年会活動について8項目にわたってアンケートを実施してみました。

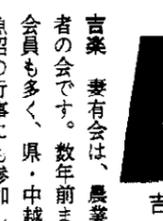
# 若い力を 村づくりのために 結集

今回は活発な活動を展開している団体のリーダーに集まっていたいただき、会の現状やこれからの課題などについて話し合っていました。



小宮山さん

中島 五月の連休に行われる東京錦糸町カップ祭りには村内の特産物を持って参加しています。これは、地方と過密都市との交流を持ち少しでも地域の活性化を図りたいと考え実施しているものです。先月の十四日も錦糸町の朝市に参加してきました。もうなじみのお客さんもお喜びでした。その他には、仲間が集まって、これからの中里村をどうしなければならぬかを話し合っています。



吉楽さん

大島 中里村体育協会は、村民の体育スポーツの普及と技術を目指し、八部(テニス、野球、剣道、バレーボール、バスケットボール、空手、スキー、卓球)で構成され、会員三百人が各所で活躍しています。また、公民館のスポーツ行事のバックアップをし、村民の健康づくりに協力しています。昨年、体協設立二十周年を迎えましたので、今年、体協独自の「村民健康ウォーク」を実施し、大変喜ばれました。

## 積極的な参加なし 現状の問題点

大島 体育面で一番の問題点は施設です。施設が無いという点と語弊がありますが、施設が点在していたり、夜間照明施設が無かったりして、思うようにスポーツ活動ができません。最近では、勤め人が多く、日曜農業のため、夜スポーツをするのが多くなっています。体協に若い人が少ないのは、勤務形態の多様化だけでなく、体協主力メンバーと若い人の年齢差が過ぎたことも原因の一つだと思います。各部で一生涯命やついても若い人がついてこないことが一番残念なことです。

地域づくりに  
若者のエネルギーを  
三社みこしを呼ぶ会、体育協会、妻有会、上山三十路会それぞれの会がリーダーを中心に活発に活動しておられ、地域づくりの原動力となっておられることを知りました。  
しかし、また悩むものも限られた人数、活動する施設の確保、経済的な負担等々でも後継者や若者の参加がもっとほしいというのが共通の願いといえます。若者のもつエネルギーをどうグループ活動の活性化に生かしていけるかが最大の課題であり、鍵をにぎっている気がします。

それには会自体の内容や運営がより若者に開かれたものに心がけることは勿論ではありませんが、現代

小宮山 上山三十路会は、三十歳〜四十歳の既婚者二十七人で構成しています。活動としては、鳥追い、道楽神焼き、雪上運動会、親善野球大会の企画運営を担当するとともに、秋まつりの演芸大会にも参加しています。三十路会は、若者同志の親睦を図るとともに、地域の活性化のために努力

吉楽 妻有会は、農業後継者の会です。数年前までは会員も多く、県・中越・中魚沼の行事にも参加していたのですが、最近会員も減り、上部団体の主催する行事に参加していないのが現状です。当初から仲間づくりを目的に作られた会ですから、交流会、バーベキュー、ボーリング大会などを通し、会員同志の親睦を深めています。また、実績発表会を行い、お互いの農業

います。小宮山 年齢が限られているため、四十歳になった人はほとんど上がつっていく半面、若い人が入って来ない。今後は、二十歳の既婚者の加入も考えたいと思います。三十路会が中心になりすぎて、集落の一人一人の積極的な参加が少ない。中島 我々の会は、都会に何かを求めて、都会の人たちをこちらに呼んだり、我々が都会に行ったりして交流を深めています。一番の問題点は、金のかかることです。三十人ほどメンバーがいいますが、収入に結びつかない上、負担が大きいく積極的に参加している人は

## リーダーの育成を 活動を盛り上げるには

少数です。若い人の中には利益に結びつかなくて馬鹿馬鹿しいという声も耳にしますが、今後の中里村のことを考えるとそんなことを言っていられないという気がしています。

中島 村民娯楽大会や村民体育祭に参加してみても、役員職員の参加が非常に少ないようです。役場の人たちが、こうした行事に積極的に参加することも、若い人たちが動かす原動力になると思います。

大島 中里村は、十日町市津南町、川西町には生まれ育っているという感じで刺激が少ないと思います。スポーツ運動公園的なものを作り大学のスポーツ部の合宿を誘致し、青少年のスポーツの振興を図った方がよいと思います。



中島さん

中島 朝市に参加した際、地元の青年と交流会をした



大島さん

が、今までスキーという長野、山形方面に行っていたが、中里村にスキー場ができれば、保養所を作りたいという意見も多かった。都会の人たちは、ふるさとを求めています。こうした欲求を活用した村づくりも必要だと思っています。小宮山 住民意識の向上を図ることが必要だと思えます。そのためには、講演会とか、リーダー研修会を開く必要があると思います。一年に一度は、村内の若者が巻の研修所に行く機会を作ってほしい。村には、青少年育成村民会議がありま

## とにかく 活動に参加を 若い人への期待

吉楽 会に入った以上は、他人任せではなく、自分で積極的に取り組んでいかなければ前には進まず、開けないと思います。個人個人がもっと強い意志をもって、目標に向っていく必要があると思います。中島 とにかく、若い人はいろいろな活動をやってほしい。失敗を恐れないで何でもやってみてほしい。十二月には、我々の会も名称を新たにしてガンバリますので、ぜひ、入会してください。人のせいにはかりたくないで、自らの力を村づく

大島 若者の交流の場というか、気楽に集まれる施設がないと思います。青少年ホームみたいな所があれば良いと思います。中島 福島県の柳津町に視察に行ってきたのですが、B&G(日本船舶振興会)財団の資金援助を受けて作

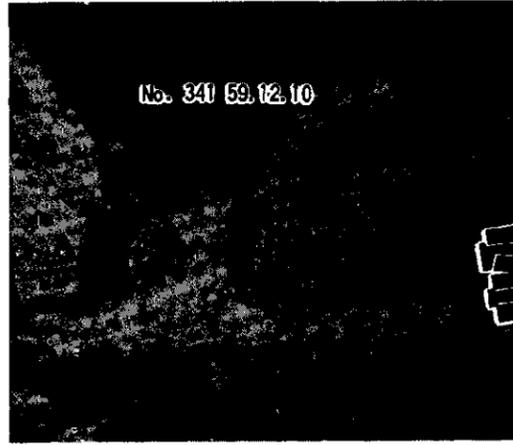
座談会出席者  
小宮山省三……上山三十路会会長  
大島康太郎……中里村体育協会会長  
中島正人……三社みこしを呼ぶ会会長  
吉楽広志……妻有会副会長

座談会を終えて  
若い人たちが、グループや団体活動をあまり好まない理由として、こうした活動の必要性を理論と体験を通して学べる機会がないからではないか。また、村の将来について、それを考えさせる機会がないからではないか。また、若い人たちが、幸ひ体験できる機会を多く作るべきではないかと感じます。



青年の求めるもの、動向を見極め、バラバラな気持ちをまとめていくことも大切と考えます。小宮山さんが指摘するように巻町の青少年研修センターを活用するのも一つの方法でしょう。そこでレクリエーションゲーム、グループワーク等青年をひきつけ研修する中で気持ちを一つに、地域に帰るその輪を広げていく。また県下各地の青年との交流を通して、刺激を受け、自信を持ち新しいふる里づくりへの意欲がわいていくきっかけになると思います。ただ入会を勧めるのではなく、自ら進んで参加する情熱をもつ青年を育てることが近道かもしれません。

# 雪に負けず 生命線を守る



▲頼もしいロータリー除雪車

屋根の上から大きな雪の塊りが足元に落ちてきます。屋根の雪で道路が狭まり、交通渋滞や水つきが発生します。毎年のことですが、何とかならないものでしょうか。道路に面している家では、雪を道路に落さない訳には行きませんが、なるべく落さないように努力をしています。今の世、とかく「ずるい」人が徳をしているケースを見かけます。一人でも勝手なことをやれば、悪いとわかりながらも右に習うのが多いようです。

隣の十日町市では、屋根の雪をきちんと道路脇に積んである光景を目にします。このような配慮が雪国で共に生活していく上で必要なのではないでしょうか。



十日町警察署 田沢駐在所 佐藤春男 巡査

今年も残りわずかになりました。毎年この時期は、年末のあわただしさに加えて、忘年会などで酒を飲む機会が増えることから、死亡・重大事故が多発します。飲酒運転での事故は、被害者も加害者も悲惨な結果となります。飲酒運転は、絶対にやめましょう。

これから本格的な降雪期を迎え、路面凍結によるスリップ事故が発生しやすいですから十分注意しましょう。また、消雪パイプの道路では、歩行者に雪水をかけないようにゆっくり運転をしてください。

道路脇の家はとても大変でしょうが、一人は下において、雪が人や車に迷惑をかけるないようにお願いします。役場では、冬期間の生活をより快適なものにするために、道路の除圧雪に力を入れています。今年の冬は村道の四十三・六が無雪となる計画です。除圧雪路線の延長とともに様々な問題が生じています。

その一つとして、消雪パイプによる水はわです。かわい小学生が、雪水でずぶぬれになっている姿は、痛ましい限りです。また、除雪ドザーが、必死に開けた道路に、平然と雪を捨てて人が絶えません。

雪国の生活をお互いに克服するために、最低限のモラルは守りたいものです。

## 迅速な連絡体制へ

### 防災無線設置

役場では、万一の災害に備えて地域防災計画を立ててあります。

村内に災害が発生し、または、発生する危険が生じ、その被害が広域かつ激甚に及ぶと認められた場合、災

害対策本部及び現地対策本部を設置します。

災害対策本部の組織は、本部長(村長)・副本部長(収入役)を中心とした本部(各課長・本部職員)が設置され、その下に総務部、調

査部、防災部、産業部、救助部、消防部が編成されそれぞれの任務に当たります。

### 防災無線を設置

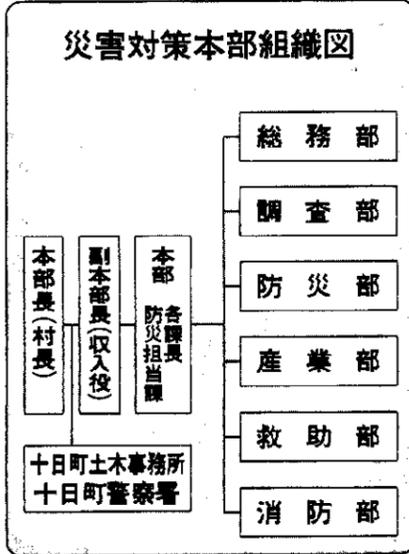
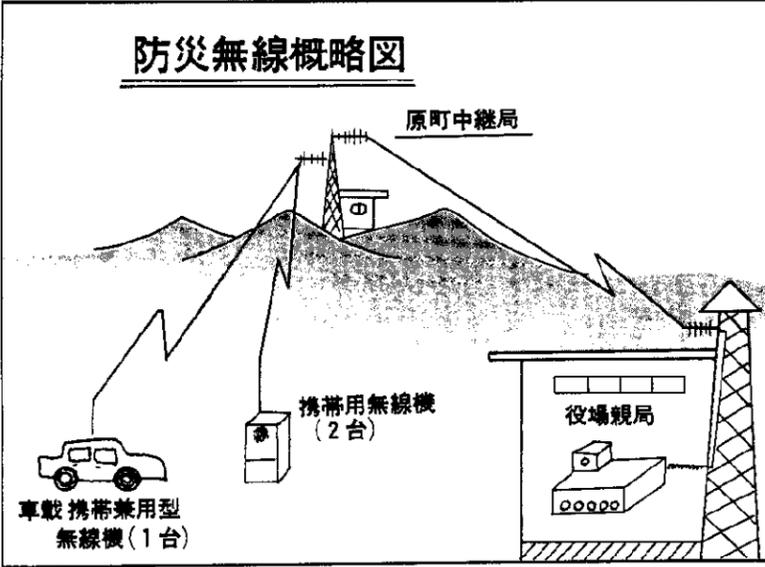
今年の二月九日に発生した津軽温泉雪崩災害では、現地対策本部と役場対策本部との連絡が電話だけであり、情報伝達に支障をきたしました。しかも、現地対策本部と救出現場が離れているため情報の伝達が迅速にできませんでした。

これらの反省に立って、村では防災無線を設置することに、現在、工事が進められ、十二月二十日に

完成する予定です。防災無線という固定系(屋外スピーカー、屋内受信機による伝達方法)を想像される人も多いと思いますが、この度設置される防災無線は移動系で、固定系と異なり役場と災害現場との発信を目的としたものです。

役場の親局から発せられた電波は、原町に設けられた中継局を通し、災害現場に持参した携帯無線機に受信されます。無線は、有線と違い村内のどこにいても発信でき災害時の強い味方です。

この無線は、災害時はかりでなく、豪雪時の調査や孤立集落との連絡などに生かすことができます。



## 健康づくりは 村づくりの第一歩

あなたの家庭では、健康づくりをやっていますか。村では、自分の健康は自分で守るという認識を高めていただくために、毎年、健康づくり大会を実施しています。今年も去る十一月十四日、総合センターで開かれ、健康家族など二百人が参加しました。

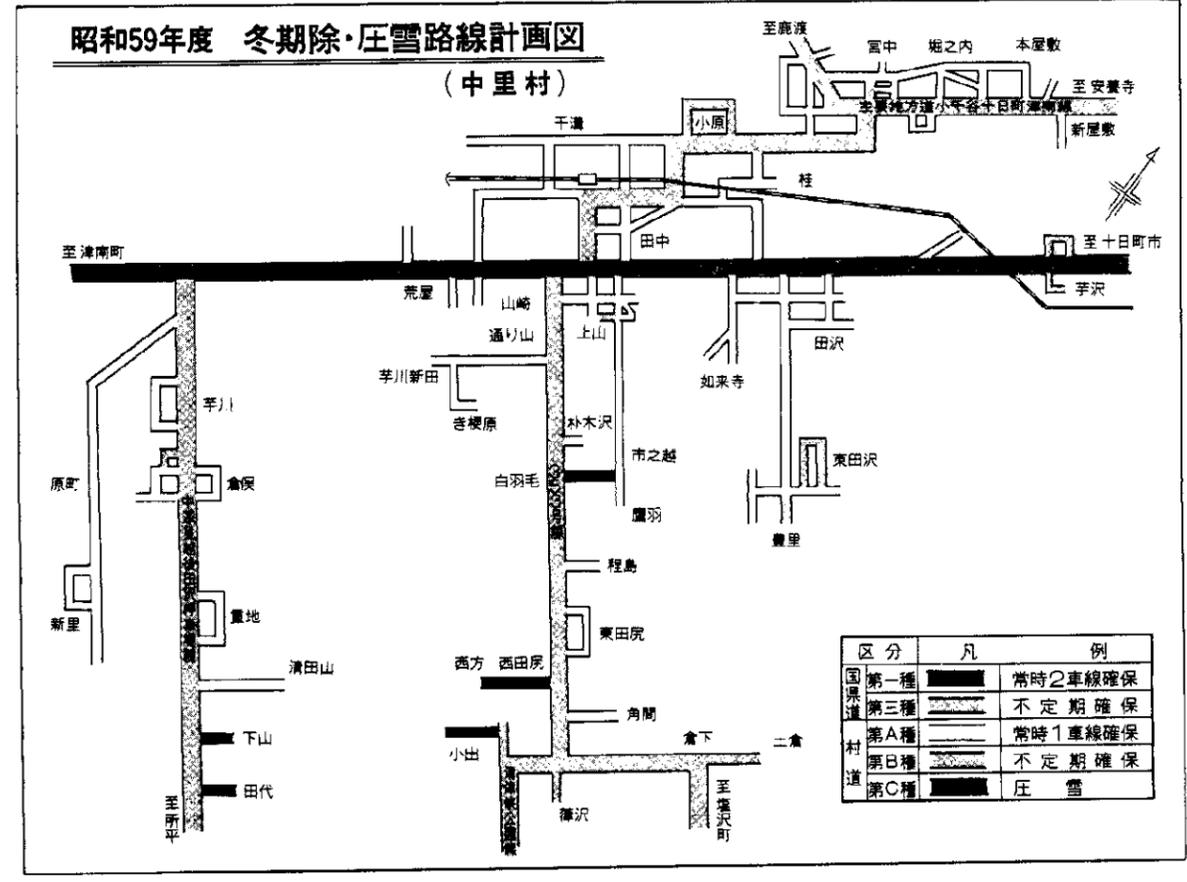
大会の中では、虫歯のない子表彰などが行われた後、村内で活躍されている五人が健康づくりの体験発表を行いました。

発表者は、老人クラブ活動に健康指導を取り入れた小出の山本森治さん、スポーツと主婦業を両立させている田沢の村山由江さん、食生活の改善に力を入れている千溝の樋口キミさん、野球に打ち込んでいる如来寺の関正利さん、婦人会活



▲体験発表に耳を傾ける

- ★虫歯のない子 三歳児 芋川 南雲浩男君外十七名
- ★健康家庭表彰 通り山 涌井友吉家外七世帯
- ★献血功労者表彰(二十回) 田中 吉栄 芳広 田中 井ノ川明子 田中 広田米次郎
- ★住み郷会長表彰 田沢老人クラブ
- ★保健衛生一般表彰 本屋敷 羽鳥ナツ子



お知らせ

優秀優良転居者の表彰申請書(2年以内昭和六十年度)

十日町地区交通安全協会の優秀、優良、運転者表彰の申請時期がやってきました。申請を希望する人は、安協の支部長さんまでご相談ください(申請書用紙があります)。

★申し込み期限 十二月三十一日まで

再就職の援助をするため 雇用保険失業給付

◎失業中の生活を心配しないで新しい仕事を探すことに専念し、一日も早く就職できるように支給されるものです。

お知らせ

◎このため失業をしている人の中で積極的に就職できる意志といつでも就職できる状態にある人で、現在仕事を探している人にだけ支給されるものです。

臨時教育審議会からのお願い

臨時教育審議会では、九月五日の第一回総会以来、我が国の教育のあり方について審議を進めていますが審議に当たって広く国民の皆様のご意見、ご要望を十分お聞きしたいと考えております。

国籍法・戸籍法の改正のお知らせ

昭和六十年一月一日から国籍法及び戸籍法が改正されます。その主な改正点は次のとおりです。

★津南町年金保養基地汚水処理金庫 年金保養基地の雑排水の一部が、倉保・芋川集落を流れる稲荷川に流される計画が発表されています。

村の暮らし

等関係者と地元の人たちが集まり、会議が行われましたが解決にはいたっていません。

今年も十二月一日から歳末たすけあいが始まりました。年の瀬を迎えたこの時期多くの国民が中流意識をもつ反面、苦しんでいる人困っている人も多くいます。

お知らせ 来年度は村制施行30周年 記念行事アイデア募集

来年は中里村が誕生してから三十年目にあたります。合併し新しい村ができるまでには大変な苦労がありました。

中里村誕生まで 昭和30年3月31日 田沢村、倉保村が合併し中里村が誕生。



この作品は山田まゆみさんの協力に掲載しています。

公給領収証を受けとりましょう

公給領収証の完全交付 受領強調期間12/10まで 料理店の経営者は、みなさんから料理飲食等消費税を受け取った印として、代金と引きかえに「公給領収証」を必ず渡さなければならぬことになっています。

成人になると 検査審査に選ばれる

成人になられたみなさんは、選挙権をもち選挙人名簿に登録されますが、また選挙権とは別に検査審査員に選ばれることがあります。

交通事故のご相談は お気軽にご相談ください

検察審査会とは、みなさんのなかからくじで選んだ審査員十一人から成り、検察官のした不起訴処分等、被害者の不服申し立てを審査するのが主な仕事です。

善悪をありがとう

社会福祉協議会へ次の善意が寄せられました。 堀之内 南雲義昭二万円 農協展示即売会チャリティ 一万六千三百円



▲ 試合を込めて剣道大会

- 各種スポーツ行事の結果
村民テニス大会 (59.10.10)
(男子) 一位 阿部 等 高道山 二位 小宮山省三 上山 三位 佐藤 孝一 桂 (女子) 一位 高木 成子 田中 二位 井ノ川朝子 通り山 三位 宮嶋 正子 十日町 剣道大会 (59.10.21) (小学生男子) 一位 服部 清(田沢小) 二位 山田 克成 三位 保坂 和洋

- 村民バレーボール大会 (59.11.25)
(小学生女子) 一位 井ノ川邦恵(田沢小) 二位 高井 芳美 三位 大口百合枝 (中学生男子) 一位 広田 正志(田沢中) 二位 井ノ川利明 三位 高橋 大行 (一般・高校女子の部) 一位 田中由美子 二位 樋口 理恵 三位 広田 悦子

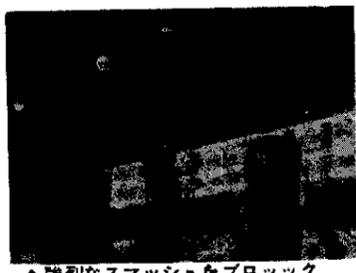
ご飯給食 大好き でも問題が

村内の小中学校のうち、田沢中学校を除いた七校が給食を取り入れていますが、この七校のうち多い学校で週四日、少ない学校で週二日米飯給食が行われています。

中里村農業委員会は、米の消費拡大を推進するために十一月二十日、田沢小倉保小、中学校の二校を訪ずれ、米飯給食を試食しながら、その実態を校長先生から説明を受けました。



▲ おいしいよっても



▲ 強烈なスマッシュをブロック



こんなところがあるぞ、という情報をお願います。スツ飛んでいきます。(六三二五二一〇二二)

### ちょっとした油断が事故のもと

冬の交通事故防止運動、毎年、この時期は、酒を飲む機会が多くなり、飲酒運転による事故が多発します。また、路面の凍結等でスリップ事故が発生しやすくなりますので十分注意をしてください。

### 一箇所二度の事故

干溝から田中に抜ける丁字路(荒屋側)で今年に入って、原付バイクと自動車による事故が二件発生しています。



### 清津館に合同句碑

雪崩災害で家族五人を失った清津館に、俳句作家連盟(会長 楠本憲吉氏)が合同句碑を建立し、去る十一月十八日除幕式が行われました。



### 渡辺英幸くん(高道山小)

今年の村内小学校親善陸上大会の走り高とびで二一・二五センチを跳んで一位になりました。昨年一位になっていたのが今年もカンパロウと三連跳びもしっかり練習をしました。特に気をつけたのは、踏み切ったから体をそらすようにしたこと。ふだんは野球が大好きで、家ではお父さんがキャッチボールの相手してくれます。将来の夢は、甲子園に行くことです。

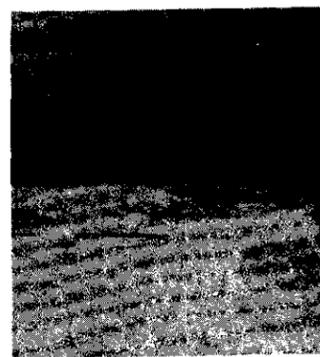


### ▲田舎の味覚を早く届けたい

新鮮なふるさとの味覚を早く会員のもとに届けようと、十一月十五日ふるさと中里の会会員四十三名(特産物希望)に初出荷をしました。箱詰作業は、特産物の調達から発送までを請け負っ

### ふるさと便会員のもとへ

新鮮なふるさとの味覚を早く会員のもとに届けようと、十一月十五日ふるさと中里の会会員四十三名(特産物希望)に初出荷をしました。箱詰作業は、特産物の調達から発送までを請け負っ



### 村内のくんな所

鷹羽集落の上から村中心を撮った写真です。丁度、この時は27日に降った初雪であたり一面がおおわれ、白と黒のコントラストがすばらしかった。夏場は展望台から広大な河岸段丘地が見られます。

### 楽しいひとときを過ごす

#### 一人暮らし老人昼食会

冬將軍の到来とともに、一人暮らし老人は、雪のこと、健康のことなど心配がつきません。こんな一人暮らし老人に少しでも喜んでいただくようと、社会福祉協議会と民生委員協議会が合同で、昨年から昼食会を行っています。



▲心配な胸の内をあかさお年寄り

### 方言あれこれ



やなあざって……3日後のこと  
やぶ……雪の中  
やがく……動く  
やどおい……いやだよ  
よぶ……歩く  
ようざり……夜  
よいへえる……風呂に入る  
ようほ……手伝い  
よしたよした……ごころうさま  
よしてもらう……家に入らせてもらう

「方言の研究」から清津峡(小)土倉分校作

新婚生活は……◆おやじと2人きりでしたので花が咲いたようです。♡女1人で忙しいけど彼がよく手伝ってくれるのでとても幸せ。  
どんな家庭を……◆2人とも母親がいないので、健康的な家庭ですね。♡笑いのある温ったかな家庭を築きたい。

### 団体戦で2位と健闘

▲栗張感が漂う会場

郡市剣道大会が十一月十八日田沢中体育館を会場に行われ、郡市内から二百人の剣士が訪ずれ熱戦を繰り広げました。

(成績) (村内入賞者)  
◎一般高校生男子・団体  
二位 中里剣友会(大島勝利 樋口秀夫、中沢秀雄、清水雅秀、高井武彦)  
◎中学生男子  
一位 広田正志(田沢中)  
◎小学生女子  
三位 高井芳美(田沢小) 川田直美(田沢小)

### お母さん上手でしょう

お母さん、日ごろ危険を理由に台所のお手伝いを子どもたちから遠ざけていませんか。  
十一月十一日、清津峡小学校で母と子の料理教室が開かれ、母と子五十五人が集まり、料理作りに励みました。これは、こぶし会と清津峡小学校の協力を得て初めて実施したものです。  
子どもたちはタマネギをむきながら涙をポロポロ。お母さんたちは、生き生きと楽しそうに子どもたちを見て胸を熱くしました。

▲親子が手を出し合っ

### ウワーオモチがつけてる

田沢小3年生42人は、社会科の工場見学の勉強をするため干溝の魚沼農産を訪れました。玄米の状態からモチになるまでの工程の説明を受けた後、設備費やモチの生産量などについて質問をしました。見学の後出されたきなこモチのサービスに子どもたちは大喜びでした。

▲説明に耳を傾ける子どもたち

### 出稼ぎの際は

▲村内でタバコを  
タバコ消費税は、村にとって貴重な財源です。

### 人生往来

人生往来の表で、出生、死亡、結婚、離婚などの統計データが示されています。